

北海道シニア吹奏楽団 平成30年度定期総会・議事録（メモ）

日時： 平成30年5月27日（日：練習日）10:00～11:30
（配布資料による説明については詳細記載を省略します）

場所： 豊水会館（大会議室）

総会成立確認

本日時点での団員数は44名。総会成立には2/3の30名の出席が必要であるが、本日の出席団員は27名、委任状提出者は12名で、合計39名となり総会は成立。（途中入場者を含めると42名）

中村団長挨拶

- ・平成29年度の団の運営については、副団長、運営委員会、事務局、そして団員の方々の協力により順調に行うことができた。
- ・平成30年度は団創設25周年の記念行事を行う予定である。審議の程よろしくをお願いします。

議長の選出

事務局から、ホルン中野さんの議長推薦があり、満場の拍手で選出。

（以下、議長により審議進行）

議案第1号「平成29年度の事業報告」

平成29年度の事業報告（伊藤事務局長説明）

配布資料を基に報告。（詳細は資料を参照のこと）

第24回定期演奏会の実施結果（島田治子実行委員報告）

- ・入場者数については、地下鉄駅へのポスター貼りの効果もあり、「かでる」大ホールをほぼ満席にすることができた。
- ・決算について、収入はチケット、協賛広告ともに昨年を上回ったが、支出は昼食代、謝礼、諸経費で予算をオーバーした。これは、エキストラ、お手伝いの方々の人数が多かったこと、「キッチン変奏曲」の道具用意や練習室確保などに経費を要したことによる。
- ・プログラム、チラシ、チケットについては、印刷データを全て自前で作成し、印刷のみを業者依頼したことにより経費を大幅に削減できた。
- ・これらにより、一般会計からの繰入を100,000円を計上していたが、実際の繰入額は68,302円で済ませることができた。

各委員会（コンプライアンス委員会、賞罰委員会）の活動（鈴木副団長報告）

- ・コンプライアンス委員会の活動については、「シニア便り」でシニア・ルールの解説を行った。賞罰委員会の活動については、第24回定期演奏会打上会で「各賞」を発表した。
- ・新団員も増えているので改めて「コンプライアンス委員会」、「賞罰委員会」を設置した経緯について説明。

議案第2号「平成29年度決算報告」

平成29年度決算報告（伊藤事務局長説明）

配布資料を基に説明。（詳細は資料を参照のこと）

監査報告（林監事） 決算について「適正かつ妥当であることを認める」との監査報告があった。

議案第1, 2号の質疑については特になく、拍手多数により承認された。

議案第3号「平成30年度事業計画」

平成30年度事業計画（伊藤事務局長説明）

配布資料を基に説明。（詳細は資料を参照のこと）

創立25周年記念行事の進捗について（鈴木副団長から報告と説明、詳細は資料を参照のこと）

第25回定期演奏会（畠山実行委員長より説明）

サクソ、ユーフォニアム、チューバ、パーカッションの実行委員会で準備を進めている。今年は25周年記念演奏会ということで小学校との共演は行わず、北海道シニア吹奏楽団単独で行う。このため、各パートから選りすぐったメンバーによる「ボディパーカッション」で盛り上げる。